

### No.1 長い歴史を誇る日水コンの海外下水道事業

- |   |  |
|---|--|
| <p><b>1959年</b> 日水コン創業(当時海外本部は「海外室」)</p> <p><b>1970年代</b> マレーシア・ペナン州におけるマスタープラン/FS調査</p> <p><b>1985年</b> タイ・バンコクにおける下水・排水マスタープラン策定</p> <p><b>1986年</b> 当社初の南米(コロンビア・カリ市)上下水道大型案件受注</p> <p><b>2000年代</b> 中南米における案件を連続して受注</p> <p><b>2007年</b> ベトナム・ホーチミン下水道整備</p> <p><b>2008年</b> スリランカ・キャンディ下水道整備</p> | <p><b>2010年~</b> ベトナム・エンサ下水道整備<br/>中南米諸国における技術協力プロジェクト</p> <p><b>2015年~</b> 世界各国における資金協力準備調査<br/>下水道事業計画の策定、水環境改善事業、<br/>汚水管理技術支援</p> <p><b>2020年~</b> 新型コロナの感染拡大を受け、Webinarを<br/>活用した技術協力プロジェクト等を実施</p> |
|---|--|

### No.2 世界各国において下水道を支援

▼ 海外支店  
 ● 海外代表事務所所在地  
 ● 下水道プロジェクト実施地域  
 ■ 近年下水道プロジェクト実施国

- 海外支店 フィリピン、シンガポール
- 海外代表事務所 インドネシア、ベトナム、インド、韓国、中国
- 海外グループ企業 PT DACREA Design and Engineering Consultants(インドネシア)

### No.3 途上国が抱える課題の解決に取り組む

#### クウェート公共事業省向け下水Webinar

- 発注者 中東協力センター
- 背景 省電力、低コストの下水処理技術への関心が高まっている
- 目的 クウェートにおける日本企業の「質の高いインフラ」の推進  
日本企業の将来のクウェートでのビジネス展開の推進
- 業務内容 日本での下水道事例紹介を行うWebinarの開催
  - ① 下水処理水の再利用事例
  - ② 下水汚泥の処理処分方法と有効利用・製品化事例
  - ③ 下水処理場の統合・広域ネットワーク管理の事例
  - ④ 狭い場所や制限のある場所での下水処理場の設計・建設・運転管理事例
  - ⑤ 処理場施設、ポンプ場の設備更新事例



調査



計画



設計・建設



運営

#### 若手社員の声

私は現在ルワンダ国キガリ市のプロジェクトに関わっています。ルワンダは千の丘の国と呼ばれ、小高い場所に行けば山々が延々と連なる美しい景色を楽しめます。

街では、大量の果物を頭にのせて運ぶ人や、巨大な牛乳瓶を自転車の荷台にのせて急な坂を必死に上る人等、ルワンダの人々の暮らしを見ることができます。

現地の生活を体感しながら、その国の実情に合った形で最適なインフラ整備を進められるよう、カウンターパートと共に仕事ができることは海外業務の魅力だと感じています。

(入社2年目社員)



#### 一日のスケジュール

- 6:00 ホテルにて起床
- 6:30 朝食
- 7:30 カウンターパートの事務所に移動
- 8:00 カウンターパートと協議
- 10:00 現場視察①
- 12:00 昼食休憩
- 13:00 現場移動
- 14:00 現場視察②
- 16:00 プロジェクトオフィスにて作業
- 18:00 ホテル着
- 18:30 夕食
- 22:00 就寝